



Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム招へい (SICA・キューバ グループ) 記録

テーマ：持続可能な開発（地域活性化）

1. プログラム概要

【目的】中米各国における政治体制や経済状況は多様であるが、「持続可能な開発」はいずれの国にも当てはまる共通目標であり、これまでもJICA等を通じた各国地域コミュニティへの支援を行っている。昨今、日本国内においては、地方における観光開発や地域産業の発展への新たな取組がクローズアップされており、中米各国の地域政策担当や自治体関係者を対象に、現在の日本の地方自治体・コミュニティの新たな取組を視察してもらうことで多様な日本を示すとともに、自治体間の交流・関係構築を促すことを目的として実施した。

【参加者】

以下7カ国の社会人 計7名

グアテマラ、コスタリカ、ドミニカ共和国、ホンジュラス、エルサルバドル、パナマ、キューバ

*順不同

【訪問地】

東京都、兵庫県

2. 日程

■ 事前学習（オンライン）：

1月21日（火曜日） 来日前オリエンテーション、本プログラム事前説明

■ 来日プログラム：

2月16日（日曜日） 入国

成田国際空港よりグアテマラ・パナマ・ドミニカ共和国・コスタリカ 訪日団入国

羽田空港よりエルサルバドル・キューバ 訪日団入国

2月17日（月曜日） テーマ別講義

【テーマ関連講義】

外務省 中南米局中米カリブ課長 佐藤 慎市

【テーマ別関連講義】

”地域活性化への取組と国際協力” 坪田裕美子 JICA企画部総合企画課主任調査役

【表敬訪問】

英利大臣政務官表敬訪問

2月18日（火曜日） 移動・テーマ別講義及び視察
東京より兵庫県へ移動
関西国際空港よりホンジュラス訪日団入国
【視察・意見交換】
人と防災未来センター
研究員との意見交換

2月19日（水曜日） 移動・視察
兵庫県神戸市より豊岡市へ移動
【テーマ別講義】
豊岡市における地域活性化への取り組み および環境創造型農業紹介
豊岡市コウノトリ共生部農林水産課 課長 浪華誠
課長補佐 山本大起

【テーマ別視察】
①株式会社由利:
豊岡鞆、工場見学
概要説明、紹介
代表取締役 由利 昇三郎
②中田工芸株式会社（岩中工場）木製ハンガー・工場見学
概要説明、紹介
経営推進部 部長 伊崎正治

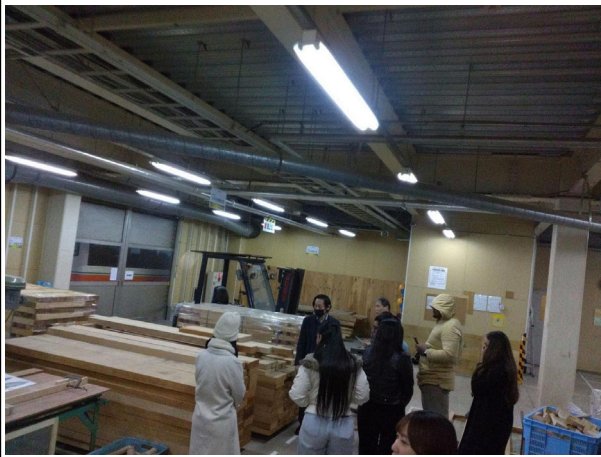
2月20日（木曜日） 視察・移動
【テーマ関連視察・講義】
①ハチゴロウの戸島湿地
講義「日本の政策と環境保全の歴史」 / 視察 戸島湿地
代表 佐竹 節夫
②カネカソーラーテック株式会社
概要説明、工場視察
代表取締役社長 清水良
兵庫県より東京都へ移動

2月21日（金曜日） 報告会
【成果報告会】

2月22日（土曜日） 羽田空港よりコスタリカ・キューバ・パナマ・グアテマラ・ホンジュラ訪日団出国
成田国際空港よりエルサルバドル・ドミニカ共和国訪日団出国

3. プログラム記録写真





2月19日【視察】中田工芸株式会社



2月20日【視察】ハチゴロウの戸島湿地



2月20日【視察】カネカソーラーテック株式会社



2月21日【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ エルサルバドル社会人

自然資源と環境保護のための自然な方法を尊重し、保護する方法を学べたことは貴重な機会でした。さらに、効果的に環境保全を実施するための研究を通じて環境の再生について学べたことは非常に役に立ちました。

◆ パナマ社会人

日本における官民連携の相乗効果について学べたことは貴重でした。また、ビジネスチェーン全体の支援と地域雇用の創出についても学べたことは今後に活かせる学びでありました。

◆ ホンジュラス社会人

環境への尊重が、実行時の発展、規律、秩序の鍵であることを私たちは学びました。

5. 報告会での発表（抜粋）

SICA CUBAグループ（抜粋）

◆ドミニカ共和国：

- ・新聞を通じた市民への普及を目的としたリスク予防マニュアルの分析
- ・教育とコミュニティのエンパワーメントプロジェクトの作成
- ・ネットワークやアライアンスを通じた団体との連携

◆キューバ：

- ・固形廃棄物に関するリサイクルの実践と市民文化
- ・環境保護地域の管理
- ・起業家精神と地方自治体の発展

◆コスタリカ：

- ・リサイクルと堆肥化センターの推進
- ・コミュニティガーデンの発展
- ・起業家精神と地方自治体の連携

◆グアテマラ：

- ・地方コミュニティにおける持続可能な開発の促進
- ・都市の持続可能な開発プログラムを改善する：雇用創出とエコシステムツーリズム等

実施団体名：公益財団法人AFS日本協会